

## 2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 23 日作成)

委員会名	建築生産・流通情報小委員会	主 査 名：南林 和
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム技術委員会	委員長名：河村 廣
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	建築生産分野におけるコンピュータを用いた生産概念を定義し、それによる設計から施工にいたる業務の流れと、これに付随する情報の流れを整理することを目的として調査研究を行い、その成果をシンポジウム、研究協議会、建築雑誌、あるいは一般専門紙等を通じて、ひろく世に問い啓蒙活動を行う。また建築生産におけるコンピュータによる「技術データ」の施工ならびに製造への伝達・利用と、設計から施工・部材製造段階に至る「管理データ」の伝達・共用について調査し、コンピュータを用いた合理的な業務処理および管理のあり方を明らかにし、これに基づき実務指針を刊行する。	
委員構成 (委員名(所属))	南林 和(大成建設) 八坂文子(鹿島) 椎野 潤(早稲田大学) 石川嘉崇(電源開発) 北川啓一(日建設計) 瀧澤博司(コア・システムデザイン) 中村裕幸(清水建設) 永易 修(フジタ) 原田 清(共栄学園短大) 古坂秀三(京都大学) 平井博彦(川田テクノシステム) 伊達政明(大林組) <b>【技術情報WG】</b> 八坂文子(鹿島) 廣澤雅之(戸田建設) 伊達政明(大林組) 平林裕治(清水建設) 竹添芳孝(大和ハウス工業) 橋田三樹雄(新菱冷熱工業) 松岡巨人(電源開発) <b>【管理・流通情報WG】</b> 南林 和(大成建設) ○永易 修(フジタ) 石川嘉崇(電源開発) 樋口正一郎(戸田建設) 瀧澤博司(コア・システムデザイン) 佐野興一郎(石本建築事務所) 常深 洋(大成プレハブ) 坂野弘一(鹿島) 原田 清(共栄学園短大) 平井博彦(川田テクノシステム) 山内光治(清水建設)	
設置 WG (WG 名:目的)	<b>技術情報WG</b> : 設計の CAD データ等, 建設される建築物の内容を示す技術的なデータの伝達と共用を研究する。 <b>管理・流通情報WG</b> : 品質・日程・原価・安全・労務等の諸管理のデータの伝達と共用を研究する。	
2003 年度予算	200,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	<p>第 10 回建築設計および生産情報の流れシンポジウム            「過去との決別(新しい発想、エネルギーを注入する)！」            2003 年 11 月 26 日(水) 参加者: 30 名(会員 25 名、会員外 5 名)</p> <p>1. コミュニケーション技術を活用した ASP サービス</p> <p>① 建築業界での地図配信サービスの活用について 鈴木 弘(ダイケイ)            ② 通信技術の建設への活用の可能性 高田 亨二(イメージパートナー)            携帯電話等の通信技術を応用したビジネスの事例紹介。電話会議システム、金融情報サービス、派遣スタッフの手配連絡システム等。</p> <p>③ GPS と携帯の位置情報サービス 足達 嘉信(セコム)</p> <p>2. 無線 IC タグ (RFID)</p> <p>④ RFID(無線 IC タグ)の技術動向と適用 赤林 研(丸紅)            ⑤ RFID 関連技術適用事例の紹介 富田 紀久夫(フジタ)            建造物にチップを埋め込んで位置を捕捉してアフターケアに利用</p> <p>3. 生産情報のデータベース化と CAD システム</p> <p>⑥ 製品情報管理システム(PDM)と次世代 Web3D システム 永本 剛(丸紅)            ⑦ 次世代 3 次元 CAD の可能性と展望 古川 暁(テクラ)            建物情報に携帯端末からアクセスして施工状況を管理するシステム紹介。</p>

	<p>7月25日 小委員会 参加者：5名        8月29日 ミニシンポ建築生産・流通情報に関する情報交換会（1）        参加者：約20名        1）建設業界での地図配信サービスの活用 D社        2）次世代型時空間GIS J社        3）携帯電話を利用した派遣社員手配、スケジュール調整システム I社        4）無線ICタグ（RFID）関連システム M社        5）製品情報管理システム（PDM） M社        6）次世代CADシステム M社        7）4次元、5次元CADの活用（測量・出来高管理） S社        8）生産設計の新しい運用（ASP、海外運用等） S社        9）ベンチャー企業の組織 S社        9月18日 ミニシンポ建築生産・流通情報に関する情報交換会（2）        参加者：約20名        1）次世代3次元CADの可能性と展望 T社        2）GPSと携帯電話による位置情報サービス S社        3）建設向け「ハード付きASP」サービス F社        4）建築支援WEBシステム(出来高管理・仕上管理) H社</p>
得られた成果	<p>（成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無）        シンポジウムは例年ホールでの開催であるが、今回は出席者間の議論を喚起することを意図して会議室で開催し、参加者数は予想を下回ったが補って余りある活発な意見交換が展開された。        テーマとしては建設での情報化を念頭に置きつつ、それだけにとらわれずに広く情報技術をコアとした新ビジネスに関して話題の収集を行い、非常に新鮮な内容であった。今後もアンテナを張りつつ、将来の方向性に指針となるような分析検討にも展開していければと考える。</p> <p>委員会HPアドレス：<a href="http://news-sv.ajj.or.jp/jyoho/M040/">http://news-sv.ajj.or.jp/jyoho/M040/</a></p>
目標の達成度	<p>（当初の活動計画と得られた成果との関係）        ・建築生産情報システムの新しいモデルの体系化（あるべき姿の追求）（継続）        今までの活動ではは建築生産の新しいビジネスモデルの事例研究を主体に研究を行ってきた。しかし、具体的な効果を示している事例が明確に識別できないのが現状である。        そこで、既存の建築生産の改善からの視点を一端捨てて、建築生産と直接関係のない分野ではあるが、建築生産現場で行われているものと同等の業務モデルと考えられる領域の先端事例を探ることとした。        結論としては、従来のアプローチとは異なるが、新しい展望が開ける可能性を感じている。</p>
その他評価すべき事項	特になし